

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年6月9日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 10 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	タービン建屋ダスト放射線モニタ吸引ポンプ(A、C)点検に伴う電源停止において、誤って同ポンプ(D)の電源を停止したため、速やかに当該電源を復旧、対応検討。	C	
2	1号機	タービン建屋大物搬入口付近の屋外トレンチ内加熱蒸気供給配管より蒸気漏れ(モヤモヤ)が認められたため、当該蒸気漏れ箇所を調査及び補修。	D	
3	1号機	燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(B)逆洗空気急速弁の閉操作において、同弁が閉にも係わらず表示灯(緑、赤)の両点灯(中間開度表示)が認められたため、当該リミットスイッチを点検。	D	
4	2号機	屋外トレンチ内の加熱蒸気・戻り系配管より水(凝縮水)の微少漏れが認められたため、当該配管の漏れ部を補修。	D	
5	3号機	取水設備トラベリングスクリーン(B)の起動中において、過トルクにより停止したため、当該感知装置を点検。	D	
6	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)の渦流探傷検査において、伝熱管2本の残存肉厚に判定値外れが認められたため、当該伝熱管を交換。	D	
7	1,2号廃棄物処理設備	濃縮廃液タンク(C)加熱蒸気・戻り系配管フランジ部より水(凝縮水)の滴下(1滴/5秒)が認められたため、当該フランジ部を補修。	D	
8	3,4号廃棄物処理設備	固化系計量ホッパ供給装置冷却水配管保温材の隙間より結露水が滴下(ポタポタ)が認められたため、当該保温材取付け部を補修。	D	
9	3,4号廃棄物処理設備	タンクベント処理系固化設備(B)窒素ガス配管において、腐食が認められたため、当該腐食部を補修。	D	
10	その他	一次水処理装置排水処理設備二次苛性ソーダ注入ポンプ入口弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ
電話 0240-25-1353